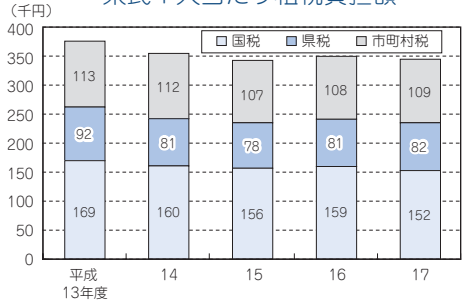


(県一般会計)

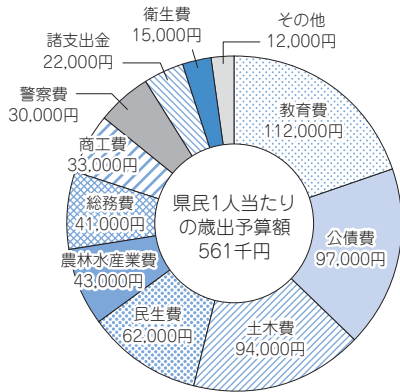
平成20年度の本県の一般会計当初予算額は3,379億円となっており、県民1人当たりの歳出予算額を見ると、「教育費」が112千円と最も多くなっており、次いで「公債費」「土木費」の順となっています。

また、目的別予算額の推移を見ると、近年、「商工費」「農林水産業費」が減少傾向となっている一方、「教育費」「公債費」はほぼ横ばい、「土木費」は増加となっています。

県民1人当たり租税負担額

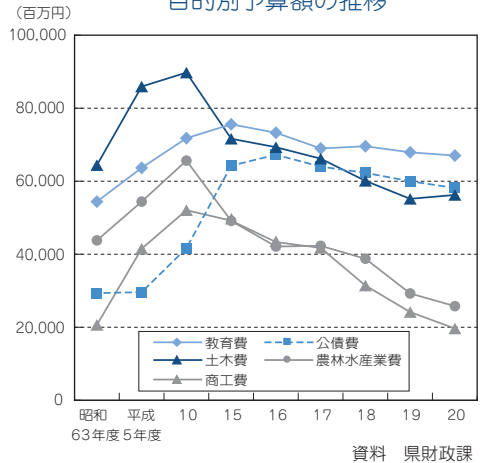


県民1人当たりの歳出予算額 (平成20年)



※平成20年度一般会計当初歳出予算額を平成20年4月1日現在の県推計人口(595,844人)で除したものです。

目的別予算額の推移



一般会計決算額

(歳入)

単位: 百万円

年次	総額	うち主要科目							財政力指数
		県税	地方交付税	使用料及び手数料	国庫支出金	財産収入	諸収入	県債	
平成16年度	418,775	49,320	129,333	8,280	70,628	1,002	47,191	65,707	0.225
17	390,684	49,575	129,125	5,290	62,652	1,167	43,679	57,846	0.239
18	376,376	50,435	129,579	4,686	52,489	1,171	36,311	53,808	0.257

(歳出)

単位: 百万円

年次	総額	うち主要科目									
		総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	警察費	教育費	公債費	諸支出金
平成16年度	404,833	25,130	38,640	10,129	41,606	36,921	70,512	17,461	69,878	70,468	15,297
17	382,174	23,945	33,242	10,283	38,684	31,840	67,077	17,220	66,916	64,822	14,221
18	369,584	22,387	35,365	9,224	38,796	30,961	63,042	19,093	67,032	62,180	13,963

資料 総務省「都道府県決算状況調べ」、県財政課